

働くよろこび、社会参加の輪を広げよう

第44号

会報

黄 菊



2018年1月



公益社団法人八戸市シルバー人材センター

青森県八戸市類家四丁目3-1 福祉公民館内

電話 0178-44-6448 FAX 0178-44-6478

平成三十年の

新春を迎えて



理事長 橋本俊二

新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様並びにご家族の皆様におかれましては、お健やかで希望に満ち溢れた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は、昨年の六月から理事長に就任し七ヶ月が経過致しました。その間まったく新しい分野の業務に直面し、毎日が試行錯誤の連続でしたが、役・職員そして会員の皆様に支えられ、大過なく新年を迎えることが出来ました。

会員の皆様にとって、昨年はどんな年であったでしょうか。また、どんな抱負を持って新年を迎えられたでしょうか。

さて、我が国における高齢

化率（総人口に占める六十五歳以上の高齢者の割合）は二〇一六年の時点で二七・三%で、一九五〇年の五%から上昇を続けています。加えて、出生

数は、緩やかではありますが依然として減少傾向にあり、少子高齢化とそれに伴う労働力人口の減少が、近年稀にみるスピードで進行しているといえます。

このような情勢は将来的にも続くと思われる、労働力をどのように確保するかが重要な課題とされています。それだけに、センターに対する需要と担うべき役割はさらに大きなものになっていくでしょう。特に、介護や子育て支援等の福祉分野においては、センターの活躍に期待が高まっております。

会員の皆様におかれましては、本年も「自主・自立・共働・共

助」の基本理念のもと、健康と安全に留意され存分にご活躍いただきたいと思います。当センターと致しましては、豊かな高齢社会を構築していく一助となるよう、センター事業の発展に、より一層努めて参ります。本年も皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げます。あわせて皆様のさらなるご健勝とご多幸をご祈念し、新年のご挨拶と致します。

訃報



河村牧男理事長が、病氣療養中のところ昨年

六月十日に永眠致しました。平成二十一年三月の入会以来八年の間に理事・副理事長を務め、平成二十五年五月に理事長に就任され、センターのために貢献されました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り致します。



公益社団法人
八戸市シルバー人材センター

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

役員

理事長 橋本俊二
常務理事 山谷哲也
理事 前田洋子

保田正武
田畑紀子
直江洋一郎
杉浦利治
大野晴治
松田利造
佐々木利豊
松山京子

事務局

事務局長 山谷哲也
業務課主幹 檜山明美
業務課主任 西村龍
業務課主事 堀内美佐江

名久井勇磨
大橋侑弥
西田陽平
三浦協子
相内佑香利

嘱託職員 明道昭夫

今年は戌年!

干支の由来には諸説あります。



○戌の干支には、「勤勉」「忍耐強い」という特徴があります。

また、前年の実りを、忠犬のように「守り継いでいく」という意味も持ち合わせています。

○犬はお産が軽いことから、安産の象徴とされており、「戌の日」が吉日とされています。

酉年は収穫の年、戌年は収穫後の年です。昨年のお会いや経験をしっかりと守り継いでいきたいですね。

もしかしたらつまづくこともあるかもしれませんが、それでも日々努力を怠らず、忍耐強く過ごしたいものです。

何かを生み出す新たなスタートの年としても良いかもしれませんよ?

さて、今年の年男・年女となる会員の皆様の中から、6名の方々に右記のテーマでお話を聞きました。

- ①趣味、特技、最近のマイブームなど
- ②昨年嬉しかったこと、楽しかったこと
- ③新年の抱負、挑戦したいことなど

加賀すえ (湊二班)

昭和九年生

- ①手仕事。知人に頼まれて、着物やはんてん等を作っている。大体二週間程で完成する。
- ②昨年九月にはつちで開催された生き活きまつりに「わ」の会で参加し、作品展示と販売をしたこと。自分で作ったポーチや小銭入れが売れました。
- ③町内会で、湊第二号公園の草取りと清掃ボランティアをしている。今年も綺麗な公園にしていきたい。

竹林義信 (長者三班)

昭和九年生

- ①庭に植えているツゲの木の剪定。三十本程あるので、時間を見つけては丸く形を整えている。
- ②畑で栽培しているぶどうが十分に育ってくれ、たくさん収穫できたこと。とてもおいしかったです。
- ③畑仕事。今までは作らなかつた野菜を作りたい。妻と二人でズッキーニを作ってみようかと相談している。

野上秀幸 (小中野一班)

昭和二十一年生

- ①読書と映画鑑賞。本は司馬遼太郎の歴史ものがおすすすめ。映画は、最近はロシア映画の戦争ものにはまっている。
- ②草刈班の仕事で毎日忙しかったこと。昼休憩時に班員の皆と昼食をとりながら雑談をして笑い合えたこと。
- ③最近太ったので、ウォーキングと筋トレをしたい。健康維持のため、買い物には車を使わず妻と徒歩で行っている。

滝沢アイ (石手洗班)

昭和二十一年生

- ①畑で無農薬野菜を作ること。昨年は大根や人参、長ネギが良く穫れた。
- ②県外に住む小学四年生と六年生の孫が夏休みに帰省してくれたこと。ねぶた祭りや浅虫水族館、三内丸山遺跡を見てまわったことが思い出。
- ③健康に気を付けて過ごしたい。孫がお祭りの金魚すくいので取った金魚も長生きさせてあげたい。

熊野光子 (河原木三班)

昭和二十一年生

- ①手芸や編み物。趣味で作ったカーディガンやベストを友人にプレゼントしている。
- ②友人と食事や温泉に行ったこと。また、天気が良い日は会員の仲間と一緒に草取りに励んだこと。
- ③これからも、天気の良い日には草取りを、休みの日には食事会等ができるよう、事故に気を付け健康でいられるようにしたい。

高橋脩藏 (白銀六班)

昭和二十一年生

- ①旅行と記念硬貨集め。今までに収集した硬貨は約百枚で、高価な物ではないが七十二年の札幌オリンピック記念硬貨がお気に入り。
- ②妻と一緒に車で道の駅巡りに出かけたこと。今年は秋田や山形等、日本海側に行きたい。
- ③十日程休みが取れたら、妻と一緒に車で北海道を一周したい。それまでは、シルバーの仕事が無事故で頑張りしたい。

就業現場紹介

◎ ケーズデンキ八戸本店

商品の袋詰め・陳列・

キャリング業務

八戸市沼館にて営業している大型家電量販店ケーズデンキ八戸本店。市民の方であれば、一度は来店したことがあるのではないのでしょうか。

こちらの店舗では、当センターの女性会員三名、男性会員一名の計四名が労働者派遣という就業形態で就業しています。業務内容は、品出し及び陳列、お客様の購入した商品の袋詰め、プレゼント用のラッピング、お客様の車までの商品の運搬等多岐に渡ります。もしかしたら、当センターの会員とは知らずに接客サービスを受けていた方も多くいられるかもしれないですね。

数年前からこちらの現場で就業している当センターの会員、松橋エサさんは「お客様へ最後に接客サービスをするのが、商品の袋詰めと引き渡しをする時。そのため、お客様に対する笑顔や言葉遣い等の立ち居振

る舞いには気を付けています。」と話します。

お正月の初売りやお盆前の時期はやはり大変忙しいそうので、陳列する商品は一日におおよそ二千個にもなるとのこと。「派遣先の社員の方や、一緒に就業している会員と手分けをして陳列作業をしています。それでも相当な数の商品があり、レジ横での袋詰め作業と売り場での陳列作業を、状況を見ながら並行して行うのは大変。でも、店長さんや社員の方から、気が利くねとかテキパキと動いていて若々しいね等と言われると、嬉しくなって頑張れますね。」と話す松橋さんの笑顔はとても素敵でした。

「シルバー人材センターに入会して、ケーズデンキで就業できて本当に良かった。就業することで生活に張りが出るし、夫も応援してくれています。何よりも、ゲーム機や電子辞書等を買って孫にプレゼントしてやれるのが嬉しいですね。」と話してくれた松橋さん。これからもお客様を笑顔にできるよう、また、自分自身も生きがいを持つ

て笑顔で過ごせるよう就業に励んでいたと思います。



ケーズデンキで品出し作業をする会員

◎ 八戸市水産事務所

荷さばき所A棟の運転等業務

八戸市白銀町三島下にある八戸港第三魚市場。その先端部分に建っている荷さばき所A棟という施設をご存知ですか？このA棟は主に生鮮さばを水揚げする施設であり、漁船の魚槽からフィッシュポンプでさばを吸い上げホッパーという貯蔵槽に一時搬送、コンベアにて箱詰室へ搬送され箱詰め・搬出という作業を機械が自動で行います。水揚げから箱詰めまでの間に人の手や外気に触れることがないため、その衛生管理は世界最高水準である対EU（欧州連合）輸

出基準に対応しており、日本国内で唯一、水揚げした水産物をEUに輸出できる施設とされています。

このA棟では、昨年七月から当センターの男性会員十二名が派遣就業しており、交替で設備の運転業務や清掃業務にあたっています。

「水揚げがある日は、私たち会員も職員の方々もバタバタと忙しくなります。機械トラブルが発生することもあるので大変です。水揚げが無い日に行う設備の清掃も衛生管理においては必要なことで、汚れやサビが落ちて綺麗になっていくのは気分が良いです。朝が早かったり、作業内容が天候に左右されたりと不規則な仕事ですが、前年度よりも水揚げの実績が上がったと聞くと、少しは役に立てたかなと嬉しく思いますね。」と会員の大西喜一郎さんは話してくれました。同じく会員の安藤清美さんは「水揚げ作業は時間との戦い。漁師の皆さんが少しでも早く帰れるよう素早い作業に努めています。漁師の皆さんとの意思疎通がうまく図れず大変な

就業現場 作業道具・機械などの必要な仕事はその点検を行いましょう。



水揚げ作業の様子

時もあります。作業終了後はやはり達成感があります。同時に、作業を円滑に進めるにはコミュニケーションをよく取ることが大事だとわかりました。A棟に水揚げする利点はたくさんあるので、もっと周知が進めばより多くの船が入港してくれると思います。」と話します。

昨年末には、A棟で水揚げされたさばを使用した缶詰が市内の高校で製造され、PR活動に活用するとニュースで取り上げられていました。また、昨年十一月には、市内の水産加工会社にてA棟が稼働して以来初となるEUへの輸出対応製品が生産されたとのこと。このような八戸市の水産業の活性化は、就業会員の方々の活躍と頑張りがあったからこそと言って過言ではないですね。

◎家事援助サービス

当センターでは、ご家庭の掃除や食事作り等のご依頼も多数承っております。女性会員向きの仕事だと思われがちですが、窓拭き等脚立を使用する作業や換気扇の掃除で活躍している男性会員の方もいらっしゃいます。

当センター会員の八木橋美枝子さんは「初めて訪問するお宅の場合は特に、道に迷って遅れることのないよう余裕を持つて出発します。また、お客様もどんな人が来るか不安だと思うので、挨拶や作業前の打ち合わせをしっかり行うよう心掛けています。たくさんの人と接する機会があつて楽しいです。」と話してくれました。

家庭内での仕事の場合、企業でのそれとはまた違った難しさや気を遣う部分がありますが、やりがいや楽しさを感じる部分も多いのではないのでしょうか。



シルバー人材センターでは会員を募集しています!

当センターでは、八戸市内にお住いの概ね60歳(55歳)以上の方のご入会をお待ちしております。

- ・退職したがまだまだ現役!
- ・働けるうちは働きたい!
- ・仲間や友人を作りたい!
- ・社会参加し、生きがいを見つけたい!
- ・健康維持・体力増進を図りたい! など

豊富な知識と経験をセンターで活かしませんか? ご入会をご希望の方、または話だけでも聞いてみたいという方は、下記までお問い合わせください。

公益社団法人八戸市シルバー人材センター

八戸市類家四丁目3-1 福祉公民館内

電話 0178-44-6448

FAX 0178-44-6478



シルバー人材センター
マスコットキャラクター
『チエブクロ』

会員の
皆様へ

奥様やご主人、お知り合いの方のご入会もお待ちしております!是非、ご紹介ください!

会員互助会 同好会のご紹介

★踊り同好会 すみれ会★

踊り好きが集まり、活動しています。

会員の集いや日帰り旅行での余興発表、八戸菊まつりでのステージ発表に向け、演目の練習をしています。

- 【日時】 毎週水曜日
13時30分～15時30分
【場所】 八戸地域職業訓練センター



★名所めぐり同好会★

年に2～3回、不定期で日帰り旅行や一泊旅行を実施し、親睦を図っています。

- 【日時】 不定期
【場所】 行事による



★グラウンドゴルフ同好会★

一年を通して、屋外や屋内の練習場にて活動しています。互助会主催の大会をはじめ、八戸市GG協会主催の大会や、五戸、名川で開催される大会にも参加しています。

また、忘年会などの行事も企画し親睦を図っています。

- 【日時】 4月～11月 毎週水曜日 13時～16時
12月～3月 毎週金曜日 11時～13時
【場所】 4月～11月 新井田公園
12月～3月 八戸市屋内トレーニングセンター



会員互助会 同好会のご紹介

★卓球同好会 さくら会★

卓球を通じて心身を鍛え、健康維持及び会員相互の親睦を図ることを目的としています。

毎週の活動以外にも、各会員それぞれがナイター卓球や公民館卓球大会、熟年大会などにも参加をしています。

- 【日時】 毎週木曜日
18時30分～20時30分
【場所】 大館公民館



★手作り同好会「わ」の会★

和裁、洋裁、編み物など各分野があり、会員それぞれの得意分野を中心に材料を持ち寄りたり頂いたりして、意見交換や協力をしながら作品作りを楽しんでいます。

毎週の活動以外にも、八戸市主催イベントや生き活きまつりへの出品も行っています。

また、食事会やカラオケ大会、忘年会などを企画し親睦を図っています。

- 【日時】 毎週木曜日 9時～15時
【場所】 八戸地域職業訓練センター



★ボウリング同好会「シルバーガースト倶楽部」★

ボウリング好きが集まって練習をしています。

互助会主催の大会や同好会内での大会を開催し、切磋琢磨しています。

また、忘年会などの行事も企画し親睦を図っています。

- 【日時】 毎週火曜日 10時～
【場所】 ゆりの木ボウル



同好会会員募集中!

同好会活動で、仲間作り、健康増進、体力維持、新たな趣味の開拓をしませんか？
興味のある方は、事務局までご連絡下さい。共に充実した時間を過ごしましょう！

気象のあれこれ

★予報編

雨か雪か？雪か雨か？

二月半ば頃から三月にかけては、天気予報の降水確率の表現が「雪の降る確率」から、「雪か雨の降る確率」あるいは「雨か雪の降る確率」となることが多くなります。テレビやラジオの天気予報で耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。

降水にはいくつかの種類があり、海風の冷たい空気が入り込む沿岸部では雪、内陸部や盆地では風が弱まるとみぞれや雨に変わるなど、気温や地形の影響を受けて姿かたちを変えます。

冬の低気圧は日本海から秋田沖を通ることが多いのですが、だんだんと春めいていくにつれて、日本の南岸沿いを通る低気圧（南岸低気圧）が現れ始めます。この南岸低気圧が、日本の南海上から北上しながら三陸沖に近づく頃、八戸では曇りや雨から雪に変わるようになりますが、ところによっては雨のまま降り続くこともあります。この

ような状況下を予想する場合、「雨から雪に変わるのはいつ頃か？」の判断は難しいもので、気温が五度でも雨ではなく雪の場合もあり、氷点下五度でも雪ではなく雨の場合もあります。

南岸低気圧の通過による予測は、降水量と積雪と気温予想のわずかな誤差が大きな誤差につながることもあると言われています。

これから春に向けて、低気圧が通過するような状況の場合、「雪か雨の確率」という表現を耳にすることがあれば、悩みに悩んだ結果だということを思い出してみてください。ちなみに、過去の八戸の大雪としては、昭和五十二年二月十六日に日最深



積雪が九十二センチに達し、八戸測候所の観測が開始されて以来の最高記録となっています。この記録は未だ塗り替えられていません。

★防災編

冬から春へと季節が移る頃、天気が安定せず雨や雪の日が多くなります。「春に三日の晴れなし」という諺があるように、晴天は長く続かず周期的に天気が崩れ、時には予想もしない災害が発生することもあります。

冬の地震への備え

冬期に発生する地震は、夏期に比べ被害が大きと言われることがあります。積雪による家屋の倒壊や電気・ガス・暖房器具の消し忘れによる火災など二次災害の要因が多く、特に夜間は被害が拡大しやすいそうです。

大きな地震が発生しても被害を最小限に抑えるためには、

- ① 雪に対する備え
 - ② 火災に対する備え
 - ③ 寒さに対する備え
- を家族や近隣の皆さんと確認しておく必要があります。

過去には、平成六年十二月二十八日、二十一時十九分に「三陸はるか沖地震」が発生しました。八戸では最大震度6を観測し、新年を迎えた一月七日には最大震度5の余震もありました。比較的雪の少ない八戸ですが、二、三月は大雪になることもしばしばあります。「備えあれば憂いなし」普段から心掛けたいですね。



活動紹介ギャラリー

～1年を振り返って～



安全パトロール



草刈り講習会



庭木剪定講習会



生き活きまつり



ボランティア（新井田公園）



日帰り旅行



菊まつり



料理教室

はちのへ散歩

漁港散策行

冬至の翌日、館鼻漁港を散策してみた。曇り空で日差しはないが、実に暖かい。気温も七、八度はあるうか。風もなく、港内は水面に少しの波紋もないおだやかさである。少し前までは他県からの鯖船団で賑わっていたが、皆、母港に帰ったのだろうか？今はその姿もない。

岸壁に二十人ほどの釣り人が竿を出している。今の時期だとおそらく「チカ」狙いであろうが、中には投げ釣りをしている人もいる。他には「探り」「置き竿」等のサビキ釣りだろうか。皆、防寒具を着用し、夫婦と見られる女性の方は救命具を着用して、周りを男の子が走り回っている。「おや？」と首を傾げた。子供にこそ救命具を着用させるべきなのに。

岸壁全体を見渡してみると、ボランティアの人々によつて清掃されているおかげか、綺麗である。しかし、小鯖の回遊が最盛期を迎える頃の岸壁の状況は目に余るものがある。ゴミの置

き去りには危険が伴い、釣り針のついた仕掛けや釣り糸等は最たるものだ。子供が走り回ってそれらに引っかかったら大怪我をするし、破傷風にでもなったら大事である。最も被害を被っているのは海猫で、片足のない海猫を見かけることがよくある。これは、放置された釣り糸で切断したのだろう。

白銀の第三魚市場の岸壁にも行ってみた。五人の釣り人がいた。シーズンオフなのだが、どうもゴミが多い。空き缶、タバコの吸い殻、ビニール、釣り糸、仕掛け。さらには、リアカーに温風ヒーターまでも。「釣り人よ、ゴミを捨てるな、持ち帰れ。」

(記 勝野司)



事務局職員採用



西田中陽平さん(二六)が平成三十年一月一日付で正職員採用となりました。以前は、物流関係の会社で総務及び現場管理の仕事をしていたそうです。

趣味は、小学校時代から一六年間続いている卓球と、爬虫類の飼育とのこと。爬虫類は、四種類九匹ほど飼育しているそうです。

事務局で一番若い職員です。皆様、よろしくお願い申し上げます。

訃報

青葉・諏訪班 畑内留之助様
長者一班 外館 正雄様
鮫崎 三三 泉山 和男様
柏崎 班 鶴飼 昭子様
長苗代 班 橘 昭夫様
白銀四班 下斗米広美様
根城一班 長内 繁雄様
大館五班 大野 正美様
謹んでご冥福を

お祈り申し上げます。

表紙について

春を呼ぶ舞「八戸えんぶり」烏帽子をまとい、凍てつく大地を摺る太夫の舞には、豊作を願い、春を待つ人々の願いが込められています。

(撮影 島山勝則)

編集後記

皆様、明けましておめでとうございませう。

当センターの会報は、ご存知のとおり昨年発行の第四十三号より、「黄菊」へと名称を改めました。会員の皆様より、「なんて読むの?」「おうぎく?」と質問を頂戴することが幾度かございましたが、正しくは「きぎく」と読みます。

さて、今号には、気象に詳しい会員の方にご協力頂き、お天気コラム「気象のあれこれ」を掲載致しました。ご一読下されば幸いです。

普及・啓発委員会では、皆様に待ち望まれるような紙面づくりを目指して参りますので、ご意見・ご感想等がございましたらお寄せ下さるようお願い致します。

本年も、どうぞよろしく願い致します。(編集委員一同)